

事務事業名		越喜来地区漁業集落環境整備事業			☒ 実施計画登載事業	☒ 合併建設計画登載事業									
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目								
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興					会計	款	項	目	事業				
	基本事業名	02 活力と潤いのある漁港・漁村づくり													
根拠法令		漁港漁場整備法			☒ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成21 年度 ～ 平成27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	06	03	03	30				
所属	部課名	農林水産部 水産課													
	課長名	千葉 英彦													
	係 名	漁港漁村係	電話	27-3111											
	担当者	今野 稔	内線	364											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
・農山漁村地域整備交付金事業により、越喜来地区の水産飲雑用水施設整備として越喜来浄水場及び各ポンプ施設の改築と崎浜地区の漁業集落排水施設、雨水排水路、防災安全施設等を整備し、地区住民の生活環境と越喜来湾の水質の改善を図る。 ・主な業務は、交付金交付申請、測量設計(委託)、用地交渉、設計図書作成、工事発注及び監理、工事説明会等である。 ・事業費は、工事費、測量設計費、用地補償費等に支出される。国の補助率は2分の1。 ・本事業は平成21年度に基本計画を策定し、平成22年度に測量、設計を完了させていたが、東日本大震災により被災し、集落の形態が変わったことから、計画を見直さなければならなかったため、平成24年度まで事業を休止した。震災後、当該事業をより補助率の高い復興交付金事業に振り替えて実施できないか復興庁と協議した結果、集落道整備のみしか採択されなかったため、残りの上記メニューについては、農山漁村地域整備交付金事業で平成25年度から再開することとなった。											総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金	1,000,000	
													都道府県支出金		
													地方債	900,000	
													その他		
													一般財源	100,000	
													事業費計 (A)	2,000,000	
人件費	正規職員従事人数	6													
	延べ業務時間	9,240													
	人件費計 (B)	36,960													
	トータルコスト(A)+(B)	2,036,960													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・水産飲雑用水施設の修正設計業務の発注、越喜来浄水場改築工事の発注 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・水産飲雑用水施設整備に係る、工事管理業務、ポンプ室更新実設計業務の発注、浄水施設の建築工事の発注					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称					単位
					ア	事業進捗率(事業費ベース)				%
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・越喜来地区の住民 ・越喜来地区					イ					
					ウ					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地区住民への安定的水供給 ・崎浜地区の衛生環境の向上					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称					単位
					カ	越喜来地区内人口				人
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・漁村環境が向上する。					キ					
					ク					
					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称					単位
					サ	水産飲雑施設事業進捗率				%
					シ	集落排水施設事業進捗率				%
					ス	防災安全施設事業進捗率				%
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千 円				125,000	357,000	375,000	
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円				112,500	321,300	337,500	
		その他	千 円							
		一般財源	千 円				12,500	35,700	37,500	
	人件費	事業費計 (A)	千 円	0	0	250,000	714,000	750,000	0	
		正規職員従事人数	人	1	2	4	6	6		
		延べ業務時間	時 間	40	80	1,920	4,320	2,880		
		人件費計 (B)	千 円	160	320	7,680	17,280	11,520	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	160	320	257,680	731,280	761,520	0	
⑤活動指標	ア	%			12.5					
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	2964	2,964	2,964					
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	%			26.1					
	シ	%			0					
	ス	%			0					

事務事業ID	1257	事務事業名	越喜来地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 市内中心部より生活基盤の整備が遅れている漁港背後集落の生活環境改善を図るため、平成22年度からの国庫補助による事業着手のため、平成21年度に市単独費により事業認可のため基本計画策定調査を実施、事業開始となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 平成21年度に基本計画策定調査を行い、平成22年度に集落道及び雨水排水路の測量設計委託を実施したところで被災したため、計画の見直しが必要となったため、平成24年度まで事業を休止した。
 当該事業は、水産庁所管の農山漁村地域整備交付金事業として着手したが、震災後、より補助率の高い東日本大震災復興交付金事業に振り替えてできないか国と協議したが、集落道整備のみ採択されたが、残りのメニューについては採択されなかった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 地元から早期整備の要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 集落内の生活基盤を整備することは、漁村環境の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 集落内の快適な生活環境の整備を行うもので、市管理の簡易水道、集落排水施設、水路、防災安全施設等の公共施設を整備するものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも事業メニューに沿い妥当であり、見直し余地がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 本事業は、集落内の状況及び地元要望も踏まえた計画により実施されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 本事業を廃止・休止することにより、市内中心部との生活環境の格差が拡大する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 水路整備事業(建設課)、防火水槽設置事業(消防署) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 漁業集落環境整備事業は国庫補助事業であるが、建設課、消防署事業を実施する場合、単独事業となることから市の負担が大きくなる。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 設計及び積算にあたり、断面や使用歩掛については、コスト削減も含め基準に従っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 申請等の事務は手続きを踏んで順次行っており、また、正職員のみでは間に合わない事務作業等については臨時職員を雇用し対応している。 測量・調査・設計や工事等は極力委託・請負としている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 水産飲雑用水施設及び漁業集落排水施設は受益者負担を伴う。それ以外の施設は、極めて公共性の高い施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

事務事業ID	1257	事務事業名	越喜来地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成22年度に各施設の測量設計委託を実施したが、東日本大震災による被災により、計画自体を修正する必要が生じた。 当初計画した事業メニューの中で、集落道整備に関してのみ、より補助率の高い復興交付金事業で実施できることとなったため、本事業から集落道整備を削除した。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容)		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																																	

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	水産課	千葉 英彦

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 生活環境整備を行う事業であり、地域から早期完成の要望も強いことから実施していく考えであるが、被災に伴い、計画自体を見直しする必要がある。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 可能な限り復興交付金事業で実施し、交付金事業を導入できない分について、当事業で整備することとする。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
